

作業所日記

内堀 真樹子

毎日寒い日が続いています。作業所では毎朝全員の検温を行っていますが、皆さん寒い中を通所して来られるので、検温しても表示が「Lo」になってしまう事が多々あります。そんなときは



少し経ってから検温を再度行なっています。昨年末から今まで、インフルエンザが作業所内ではやることなく皆さんとても元気です。

全員で朝礼を行い一日の作業の始まりです。作業所での作業は、某有名お菓子メーカーの化粧箱折りやアクリル人形・スマロイドと言うカードの封入作業、「ガスケット」と言う機械の接続部分に使われるらしい、長さ7ミリ程度のプラスチックにゴム製の部品と1センチほどの長さのバネを取り付けるというとても細かい部品の組み立て作業などを行っています。1階・2階、3階まですべて使って、作

業内容で分かれて作業を行っています。皆さん仕事を覚えると作業ペースがとても速く上手になり、まさに職人技ですね。点検する職員も置いて行かれないように必死です。作業のことを皆さんに聞くと、部品の組み立て作業は楽しい！と答える斎藤さんや松村さん、海斗さんでした。とても細かくて疲れそうですが……。楽しく作業ができるのは、とても素晴らしいですね。

寒さの中でも、外のお庭の手入れや公園清掃、畑作業も頑張っています。公園清掃はこの時期コツコツと小さな草の除草やゴミ拾いを行っています。今月、公園掃除中に園内の遊具や看板が破損していることがありました。秀島さんと久保さんが掃除中に気が付いて、「小さい子が遊びに来て、ケガをしたら危ないから」と職員に報告してくれました。おかげで公園事務所に連絡をして修理をしてもらいました、とても頼もしかったです。また2か所目の公園では、梅の花が咲き始め寒いとはいえ、ちょっぴり春の訪れを感じています。休憩の時間には、梅の花を見ながら皆で、おしゃべりして楽しくお茶を飲んで過ごしています。

畑ではロベリアやオステオスペルマム、シレネのサイズアップの植え替えを行っています。この時期は土も冷たいので植え替え作業も指先が冷たいですが、開花を楽しみに頑張っています。今月はとても風が強い日もありましたが、お日様が出ているとハウスの中はぽかぽかです。ペチュニアのポット上げも行いました。「もうペチュニアのポット上げの時期なんだね」と奥さんの一言。これからどんどん春から夏に咲く花のポット上げが始まります。「今年も暑いのかなぁ」と水越さん。今年もどんな夏になるでしょう。



まだまだ寒い日は続きますので、暖かくして体調には気を付けて頑張っていきましょう。

《普通救命講習》を受けました！

12月3日（水）の午後、作業所とあしの家職員26名で、「普通救命講習」を受けました。誰かが苦しんでいる場面…現実に出くわしたくないですが…その際に、「何をすべきか」「どう動けば良いか」を知っているかどうかで、命を救える可能性が大きく変わります。そしてその「知る・動ける」力を身につけるため、3時間をかけて講師の方に教えていただきました。内容は皆



さんよくご存じかと思いますが、胸骨圧迫と人工呼吸を組み合わせで行う「心肺蘇生法」、「AEDの使い方」、のどに食べ物や異物が詰まった際の対処法「背部叩打法・腹部突き上げ法」、大出血が起きた場合の「止血法」です。先生の講義を聞いてはそれぞれの実技を二人一組で行いました。みんな真剣そのものです。災害発生が現実的な今、そして高齢化が進み緊急事態が起きるリスクが

高まる中、知識だけでなく実技を行っていることで、必要な時に慌てることなく、また立ち尽くして見ているだけでなく、声を出したり、手を出したりすることができるようになります。さらには日常生活で、危険に気づくこともできるようになると思います。今後も定期的に受講して最新情報をアップデートして、安心して生活ができるようにしたいと思います。



【健康診断を行います】

毎年行なっている健康診断を2月12日（木）に健診車に来て頂き、葦の会作業所で行います。自分の体の状態を知る大切な健康診断ですので、インフルエンザをはじめとして様々な感染症が流行っている現在ですが、しっかりと感染対策をしたうえで行ないます。今ご本人の健康状態で気になることがありましたら、事前にお知らせください。健診結果はメンバーとご家族にお知らせいたします。注意しなければならない事が見つかった場合は、看護師から詳しくお話させていただきます。また、普段からご本人の身体のことについてご心配な事がありましたら、どんな小さなことでも構いませんのでご相談くださいね。皆さんそれぞれ歳を重ねて、成人病のリスクが高まっています。日々の生活の中で、葦の会は畑作業があるので動くことが多い方ですが、十分な運動とまではいえません。いきいきタイムで、毎週エアロビクスやトランポリンを行っています。さらに個々に応じて、意識的に体を動かすことを取り入れていく必要を感じて



「元気プログラム」も行っています。作業所は「西伊興クリニック」さん、「しらいし歯科」さんと協力協定を結んでいます。メンバーさんの事をよく理解して頂いているので、何かあればご相談ください。さらに毎月西伊興クリニックの先生が、作業所を訪問して下さり、個々の体調や対策等についても相談させていただいています。日々のメンバーの様子観察、毎週木曜日のバイタルチェックを合わせて、メンバーが健康で快適に過ごせるようご家族と連携して支援していきます。立春を過ぎたとはいえ、厳しい寒さが続きます。バランスのよい食事と十分な睡眠で体力をつけ、しっかり予防して元気にこの冬を乗り切りましょう。

看護師 嶋原

あしの家だより



入江 美千代

【あしの家西新井】

お正月気分もようやく抜け、いつもの日常になりました。さて、メンバーさんの冬休みのご様子です。冬休みが始まると早々に和也さん、明久さん、仁さん、勝さんはカラオケに出かけ、楽しんで帰って来られました。明久さんは昨年正月には行けなかったので、すごく楽しみにして、何度も「カラオケ行ける？」と確認をしていました。勝さんは3日にはヘルパーさんと一緒に「佐野厄除け大師」に行き、佐野ラーメンを食べた！楽しかったと話されています。（何をお願いしたんでしょうね？ おいしいものがいっぱい食べたい！でしょうか（笑））ちなみに、佐野ラーメンとは、その名のラーメンの品種？？があるのではなく、佐野は昔からとてもラーメン店多く、日常生活に密着しているということらしいですが……。柴田さんはホームでのんびり過ごされ、中原さんは西伊興ホームへ行って増田さん、田沢さんと映画を観たりして過ごされました。お出かけできなかったのが残念だったようです。帰省した服



部さんはご家族で沢山出かけた様子。美味しいものを沢山食べたのかな？少しおなかが大きくなった気が……。裕さんは沢山お菓子を食べ、ゲーム三昧で過ごされたようです。皆さん体調不良もなく、それぞれのお正月を楽しく過ごされました。いよいよ冬将軍の到来です。体調変化を見逃さないように気をつけていきたいと思います。

【あしの家西伊興】

田村 恭子

新年明けましておめでとうございます。あっという間にお正月も過ぎ、お仕事が始まりました。寒い日が続いています。メンバーさんは防寒をしっかりと頑張っています。夕方には寒い！寒い！と言いながら元気に帰ってこられます。お正月休みは皆さんそれぞれののんびりと過ごされたようです。体調を崩されることもなく、帰省された方、ホームで過ごされた方皆さん新年を新たな気持ちで迎えられたようです。皆さんの今年の抱負は何か？ 今度ぜひ聞いてみようと思います。お正月三が日ではないですが、他の皆さんが出かけ



て一人だけ増田さんがホームに残った休日、世話人石井さんと増田さんは、西新井大師に初詣に行かれたそうです。皆さんが元気に楽しく一年を過ごせますように！！とお願いしてくれたのかな？

まだまだ、コロナやインフルエンザも流行っているようですので、くれぐれも体調には十分気をつけて、無理せず過ごしていただければと思います。また、温暖化の影響で花粉症も早まって、さらに昨年の猛暑で花粉の飛散量も多いとか……。栄養バランスに気を付けたお食事を心がけて作りますので、しっかり食べてスタミナをつけてくださいね。マスクやうがい・手洗いも忘れず、元気に乗りきっていきましょう。

奥君日記より (2026年1月)



- 5日 今年最初は畑班よりスタート。俺は花柄摘みと花の並べ替え、水越君は「唐辛子の種取り」をやっていた。午後は「寄せ植え」を4個作った。羨ましそうに見ていた水越君が側に居た。
- 6日 今日は「ロベリア」の植え替えて、水越君は「リビングストーンデージーやイベリス」を植え替えた。作本職員は「堆肥」を動かしていた。寒かった今日は休憩室で休んだみんな。
- 7日 「ロベリア」の植え替えは、今度は「ローズ」だ。花によってポットの色も変える、ローズはオレンジポット。
- 8日 今日は何と、藤牧君が畑のトイレ掃除をしてくれた。物凄く綺麗だ。でもトイレ掃除の後、直ぐに入った「宮島君そして俺」だった。
- 9日 さて、藤牧君も植え替えを教えてもらった様で、大きな洗面器に土を沢山入れてA棟でロベリアの植え替えだ、やる気十分の藤牧君だ。
- 13日 今日の水彩は「キンカンとイチゴ」だ。俺は「構図だけ」なら一番かも知れない。色を塗ると駄目らしいが「今日の絵はマシマシよ」と大川先生。
- 14日 午前の音楽は小林先生で、「今年の干支が出て来る歌」を歌った。傑作なのは「走れコータロー」で、昔の歌なのに意外と皆知っていた！という事だ。



< 今月の花売り情報 >

2月17日(火)・25日(水) 竹ノ塚センター

2月12日(木) ベルクス南花畑店

2月18日(水) ビッグ・エー南花畑店

2月19日(木) ベルクス古千谷

カルチャー教室 今後の予定

さをり 2月 7日・21日

陶芸 2月 7日・21日

習字 2月 4日・18日

水彩画 2月 6日・20日

編集後記

ああ、1月が終わってしまった。1月は往ぬ(る)、2月は逃げる、3月は去ると言いますが、本当にそうだなあ・・・と。と言っている場合ではない、年末から噂?はあったものの、いきなりの衆議院解散、選挙。これも、もう暴挙としか言いようがない。そして、猛烈な寒波、豪雪に見舞われ日々の生活を送る事が大変な地域の方々、受験真ただ中の人、多くの困難を抱えている人のことを考える。争点も物価高騰に対する消費税の扱いに終始し、ほかにもあるでしょ、なぜ言わない?!という思いを受け止めてくれる場所も、時間もない。この通信が皆様の手に届くころには、もう結果が出ているでしょうか? 私たちが一番大事にしなければならないもの、「命」、その大事な命、人としての尊厳を穏やかに健やかに守り、全うできる社会を作るために、考えよう、選ぼう! 将来を見据えて。さて、ここで映画を1本紹介します。「イマジナリーライン」という坂本憲翔監督が東京藝術大学大学院映像研究科映画専攻の卒業制作作品として制作した長編デビュー作です。日本で生まれ育った親友がある日在留資格を持たないことが発覚し、県境を越えたという理由で入管施設に収容されてしまう。本人の思い、友の思い、そして入管職員の思いそれぞれが交錯し、胸に迫ります。今、外国籍の方々に対する規制云々が議論されていますが、入管の問題だけでなく、基本の「人として生きる権利」について迫ってきます。若い監督さんや俳優さんたちの感性が光ります。まだ公開中です。ぜひ(*^^)v (池田)